

めあて

日本の伝統的な楽器でもある三味線の演奏を聴くことにより、伝統文化について興味・関心を深め伝統音楽に親しもうとする心情を育てる。

対象：クラス単位・学年単位

対象

小4

小5

小6

中1

中2

津軽三味線



授業の流れ（基本プラン）

1～2時限（通常の授業時間）

あいさつ（講師紹介）

演奏

講話

体験

質問

演奏

- ◆演奏◆ じょんがら節等
 《生の演奏を聴くことで魅力を感じさせる》

- ◆講話◆ 三味線・バチの材質と歴史、奏法や表現方法について
 津軽三味線と地唄^{ぢうた}の三味線との違い
 《歴史的背景などについて話をし、身近なものであることに気づいてもらう》

- ◆体験◆ グループに分かれて弾いてみる
 《自由に触れる、表現することで津軽三味線に対する関心を高める》

- ◆質問◆ 体験したことでの疑問、知りたいこと等を質問してみましょう

- ◆演奏◆ 体験してから演奏を聴くことで、津軽三味線への
 関心を高める



講 話

津軽三味線とは・・・

発祥は中東とされていて、その後構造的に変化しながらインドを経て中国に入り、「三絃」となり沖繩を経て、江戸時代に日本独特の三味線となりました。津軽三味線の楽曲の原型は、新潟地方の^{こぜ}警女の三味線といわれています。



演 奏



体 験



☆実施校からの声☆

- ・1時間の中で、演奏を聴いたり、ワークショップがあったりと、変化があってよかった。楽器の説明を聞いたり、実際にひいてみる体験ができたりしたことで、児童生徒は「津軽三味線」という楽器を身近なものとして感じる事ができた。
- ・三味線の音を生で聴き、音の迫力に驚いている児童もいた。